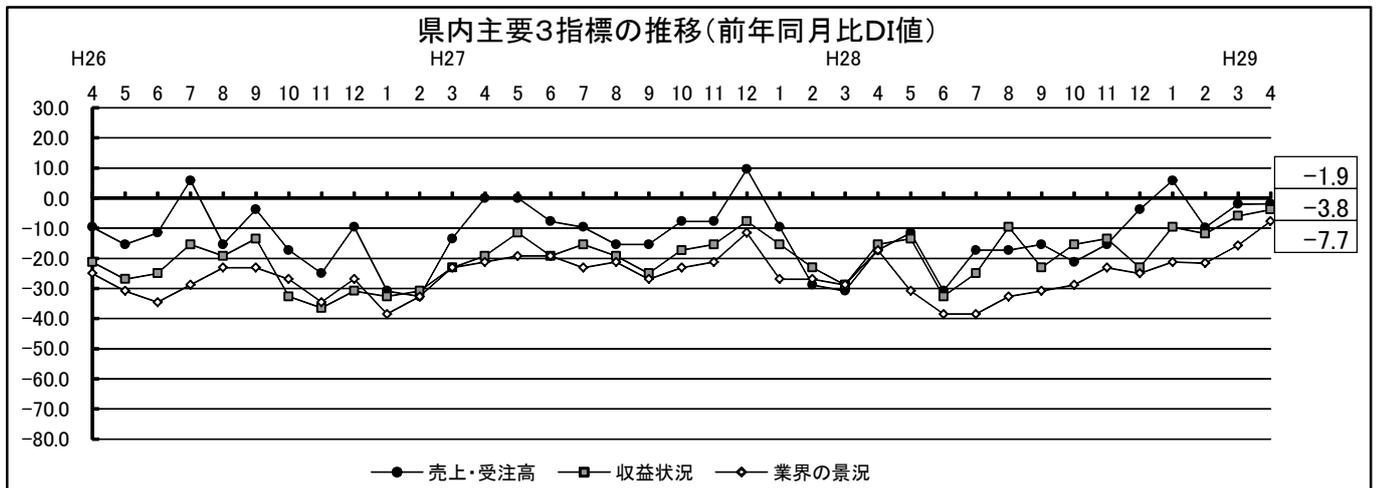


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成29年4月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

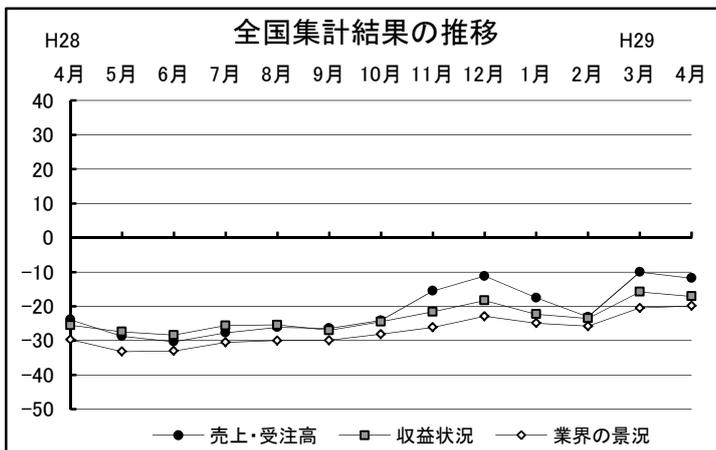
- 4月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「業界の景況」の6指標が上昇した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より0.1ポイント上昇の-1.9ポイント、「収益状況」が2.1ポイント上昇の-3.8ポイント、「業界の景況」が8.0ポイント上昇の-7.7ポイントであった。
- 県内企業においては、実需の鈍化に伴い、「販売価格」「設備操業度」「雇用人員」の3指標が低下した。依然として生産年齢人口の減少や労働時間の短縮動向等は継続しており潜在的な労働力不足は改善されていないようである。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-1.9	0.1	-11.8	-1.8
収益状況	-3.8	2.1	-17.1	-1.3
業界の景況	-7.7	8.0	-19.9	0.6

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より0.1ポイント上昇の-1.9ポイントとなった。全国においては、前月より1.8ポイント下降の-11.8ポイントとなった。



収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より2.1ポイント上昇の-3.8ポイントとなった。全国においては、前月より1.3ポイント下降の-17.1ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より8.0ポイント上昇の-7.7ポイントとなった。全国においては、前月より0.6ポイント上昇の-19.9ポイントとなった。

-概況-

4月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「価格」「設備」「雇用」が悪化し、「売上」「在庫」「条件」「収益」「資金」「景況」の6指標が改善した。主要3指標は、「売上」が前月より0.1ポイント上昇の-1.9ポイント、「収益」が2.1ポイント上昇の-3.8ポイント、「景況」が前月より8.0ポイント上昇の-7.7ポイントであった。「条件」は、昨年よりマイナス値を示してきたが、当月、11ヶ月ぶりにマイナスの値を脱した。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中2業種が上昇、3業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が上昇、2業種が下降した。「収益」は製造業で3業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で2業種が上昇、2業種が下降した。「景況」は製造業で1業種が上昇、2業種が下降し、非製造業では4業種が上昇した。

アメリカが対外通商のドル高是正を改めて表明したことに加え、朝鮮半島情勢の緊迫化等に伴う地政学リスクの急速な高まりにより金融・為替市場の流動性も上昇している。他方では、新年度を迎え、原材料・運送コスト等の負担増や過当競争への懸念も一層増大しているため、中小企業の先行きは予断を許さない状況にあるといえる。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	×	△	△	△	×	△	△	△	×
木材・木製品	△	△	×	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	×	△	×	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	△	△	—	△	×
サービス業	○	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	×	—	○	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0
繊維・同製品	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0
木材・木製品	25.0	25.0	-50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	-25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	-25.0	25.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	-50.0	0.0	-25.0
製造業	-8.0	0.0	-8.0	0.0	-12.0	-4.0	-4.0	-4.0	-12.0
卸売業	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0		0.0	33.3
小売業	0.0	0.0	14.3	-14.3	-14.3	0.0		-28.6	-42.9
サービス業	50.0		16.7	0.0	16.7	33.3		16.7	33.3
建設業	-20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-25.0
その他	-50.0		50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	3.7	0.0	11.1	0.0	3.7	7.4		-3.7	-3.7
全体	-1.9	0.0	1.9	0.0	-3.8	1.9	-4.0	-3.8	-7.7

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	前月比
売上高	-17.3	-11.5	-30.8	-17.3	-17.3	-15.4	-21.2	-15.4	-3.8	5.8	-9.8	-2.0	-1.9	0.1
在庫数量	-8.6	-5.7	-11.4	-22.9	-22.9	-31.4	-28.6	-14.3	-22.9	-14.3	-23.5	-23.5	0.0	23.5
販売価格	3.8	-3.8	-7.7	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	3.8	3.9	5.9	1.9	-4.0
取引条件	-3.8	0.0	-7.7	-5.8	-7.7	-9.6	-1.9	-5.8	-3.8	-1.9	-2.0	-3.9	0.0	3.9
収益状況	-15.4	-13.5	-32.7	-25.0	-9.6	-23.1	-15.4	-13.5	-23.1	-9.6	-11.8	-5.9	-3.8	2.1
資金繰り	-9.6	0.0	-11.5	-9.6	-5.8	-7.7	-9.6	-5.8	-5.8	-3.8	-5.9	-5.9	1.9	7.8
設備操業度	-20.0	-24.0	-16.0	-28.0	-16.0	-16.0	-8.0	-4.0	-8.0	-8.0	0.0	12.5	-4.0	-16.5
雇用人員	1.9	3.8	3.8	-1.9	0.0	0.0	0.0	-5.8	-3.8	-3.8	-5.9	2.0	-3.8	-5.8
業界の景況	-17.3	-30.8	-38.5	-38.5	-32.7	-30.8	-28.8	-23.1	-25.0	-21.2	-21.6	-15.7	-7.7	8.0

図表3～【指標別DI値の推移】

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-33.3	8.3	-33.3	33.3	33.3	-25.0	0.0	0.0	0.0
繊維・同製品	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
木材・木製品	50.0	50.0	-50.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-50.0	50.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	-50.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	-50.0	25.0	0.0	0.0	-75.0	-25.0	-75.0	0.0	-50.0
製造業	-8.0	20.8	-16.3	4.2	0.5	0.2	-16.5	0.2	-7.8
卸売業	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0		0.0	100.0
小売業	57.1	28.6	14.3	0.0	28.6	42.9		-28.6	14.3
サービス業	16.7		0.0	0.0	-33.3	16.7		-16.7	16.7
建設業	-40.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	-50.0		50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	7.4	30.0	7.4	3.7	3.7	14.8		-11.1	22.2
全体	0.1	23.5	-4.0	3.9	2.1	7.8	-16.5	-5.8	8.0

特記事項

情報連絡員報告（平成29年4月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	当業界では、食品表示制度・栄養成分表示義務化への対応に苦慮している。
外衣・シャツ製造業	一部では創業以来最低の受注と言う人もいる。 大手企業の好調が末端まで届くのはいつになるだろうか？ それまで頑張るのが大変との声が多い。
染色整理業	特段の変化なく推移している。組合員1社が3月末で廃業となった。
綱・網・レース・繊維粗製品製造業	国民全体の消費マインドが低く感じられ、景況感は未だ悪い状態が続くと捉えている。 既存の取引先の廃業、倒産も多く、販売だけでなく、加工依頼先、仕入先の確保も今後の課題と感じる。
一般製材業	4月は、1～3月の受注予定のずれこみがあったか、前年より加工実績増となった。人員に対しては、昨年CAD要員が1名退職した分、4月より新入社員を1名増員した為に変化はない。5月も大型物件の受注があり期待しているところである。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格など、厳しい経営環境に変わりはない。
砕石製造業	平成28年度（4月～3月）の出荷量は、15,529,944トンであり、昨年同期比で0.6%減で推移した。五輪特需と言われる中、下期において増加傾向を示したが、昨年度とほぼ同数の出荷量に終わり落ち込みを抑えることができなかった。
石灰製造業	4月については、一部農業分野で3月にずれ込む傾向にあったが、その他の分野ではあまり変わらなかった。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品関連…スバル下請が好調に推移している。特に売れ行き順調な車種の部品は受注増加している。 建設機械関連…持ち直している。中国の生産が回復傾向にあり、徐々に受注が増えてきている。 大型機械部品…やや持ち直しているが、今後も見通しは不透明である。
一般機械器具製造業	3月まで景気改善の状況の動きがあり期待していたが、急に4月に入り雲行きが怪しくなってしまった。原因は特定できないが、国際状況の不安定化に起因しているように感じる。
一般機械器具製造業	短納期の受注は有るものの量的には少なく、相変わらず低迷が続いている。
一般機械器具製造業	本年4月の報告は前年同月と比較し、一部の企業を除き全体的に不変という報告を受けた。しかし売上高並びに設備操業度に関し、やや上昇傾向ありとの報告も受けている。また仕入れ単価についても上昇の傾向との報告があった。
各種商品卸売業	当団地では、例年新入社員を対象とした研修会を開催しているが、過去5年間の受講者数の推移をみると、平成25年度23名、同26年度22名、同27年度23名、同28年度24名と平成25年度以降は22名から24名を維持していたが、平成29年度は16名であった。有効求人倍率が高くなってきていることから、企業の採用意欲は高まってきているものの、計画のとおり新入社員を確保することができなかったとする企業が多かった。これから先、益々労働力不足が懸念される。
食肉小売業	オーストラリア・アメリカ牛の相場が高い。鶏肉に関しては、ブラジル産鶏肉の偽装問題で輸入量が減り、3割高となっている。豚肉はカナダ・アメリカ・欧州の相場が高い。国内の牛・豚も相場高で推移するなど、全般的に高値の為、利益率が低下している。

各種商品小売業	4月期も大変厳しい状況だったと思われる。季節の好天に恵まれ早くの景気の回復を待ちたい。
各種商品小売業	売上に関しては前年を割ることなく堅調に推移した。 しかしながら、各店とも年度末の従業員の離職に対する人員の補充が間に合っておらず、人手不足が重要な課題となっている。個店個店としては出来ることも限られてしまう為、組合としてその課題に取り組んでいくか、検討していきたい。
花・植木小売業	満開の桜とともに日中は20℃を超える日もあり一気に春到来といった感じの月前半、市場では春の花の入荷が徐々に減り始め、ヒマワリや紅花等の花が増え始める。後半には芍薬なども出始め、初夏の花々が市場を賑やかさせた。 市況では前年に比べ2割程度の単価安で推移したが、販売が月を通して低調で2～3割の売上げ減との声が多く聞かれた。来月、母の日に向け組合全体で出来ることを考え販促していきたい。
自動車整備業	3月の増販期の影響からか仕入増、売掛金等により資金繰りが悪化している。
ビルメンテナンス業	倉庫内作業請負の仕事が増えている一方、慢性的な人手不足が続いている。
給食センター	新規の得意先やスポットの弁当売上があった為、売上高は前年同月比で増加となった。 新調理法で製造のシニア向け弁当の拡販等・コストダウンにより、収益は改善されていくと思われる。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇している。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。例年3月に行われていた歓送迎会が4月に予約されているケースが多く見られるため、売上げが増加となった。
旅館・ホテル	4月の業況は業界全体としては前年度に対して若干増加した。特に一部大手の宿が好況であり、増加した宿の軒数も多かった。 但し、28年1月～12月までの入込、宿泊者数は前年比で下回った。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは60%増、敷物用ラベルは38%増、壁装用ラベルは32%減であった。ラベルの支給（売上）金額では30%減であった。 中長期的な工期が見込まれる、中～大規模案件では元請側では好況感があるが、下請側では好況感がなく隔たりがあるように感じられる。 決して不況を言う訳ではないが好景気感は乏しいと思われる。
一般貨物自動車運送業	運賃値上げ交渉により収益状況が改善された事業者が増加したが、ドライバー不足も深刻であり事業者間の格差が拡大している。
貨物軽自動車運送業	4月に入り引越シーズンの繁忙期が終わり、一段落したものの人手（ドライバー）不足により受注が供給に追いつかず、大きな機会損失を招いた。一般貨物の内、特に大手食品メーカーの特需により、一時的であるが受注量が増大した。なお、建築関連貨物、精密機械関連貨物は堅調に推移している。景況感は一進一退である。
一般乗用旅客自動車運送業	ショッピングモール等からの高齢のお客様の利用が少なくなっている。デマンドタクシーの影響があるかもしれない。また、夜間の利用客も平日は少ない。
砂利採取業	不況業種であり、価格低迷のままの現状維持である。
大谷石採石業	前年同月比較で貼石関係は微減、積石関係は減。平成8年より大谷石の価格を維持してきたが、4月1日より値上げを実施した。 本年度も県・市の補助事業があり、これから動き始める。値上げの影響についても今後、明らかになって来る。